

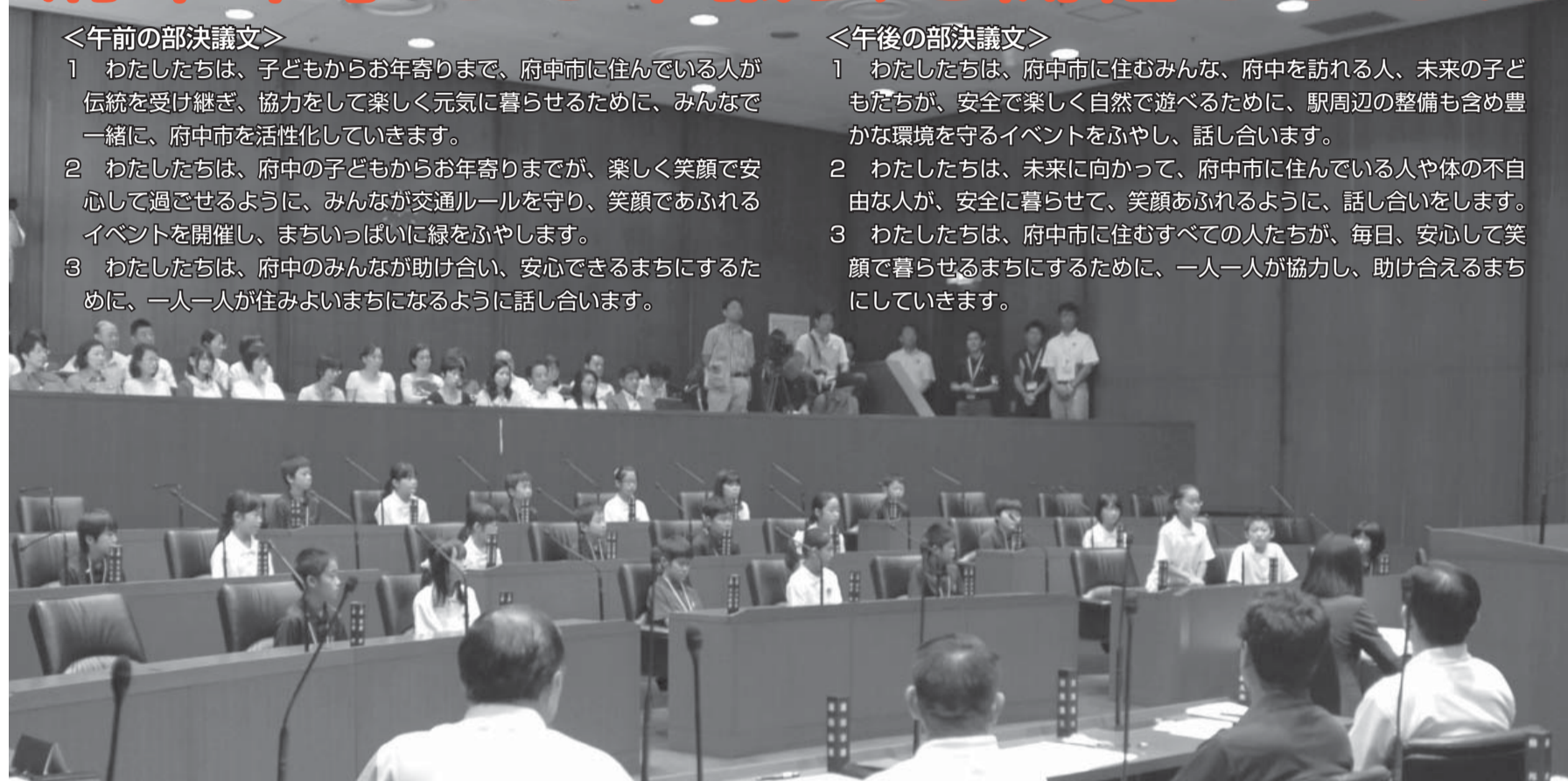
## 府中市子ども市議会を開催しました

### <午前部の決議文>

- 1 わたしたちは、子どもからお年寄りまで、府中市に住んでいる人が伝統を受け継ぎ、協力をして楽しく元気に暮らせるために、みんなで一緒に、府中市を活性化していきます。
- 2 わたしたちは、府中の子どもからお年寄りまでが、楽しく笑顔で安心して過ごせるように、みんなが交通ルールを守り、笑顔であふれるイベントを開催し、まちいっぱい緑をふやします。
- 3 わたしたちは、府中のみんなが助け合い、安心できるまちにするために、一人一人が住みよいまちになるように話し合います。

### <午後部の決議文>

- 1 わたしたちは、府中市に住むみんな、府中を訪れる人、未来の子どもたちが、安全で楽しく自然で遊べるために、駅周辺の整備も含め豊かな環境を守るイベントをふやし、話し合います。
- 2 わたしたちは、未来に向かって、府中市に住んでいる人や体の不自由な人が、安全に暮らせて、笑顔あふれるように、話し合いをします。
- 3 わたしたちは、府中市に住むすべての人たちが、毎日、安心して笑顔で暮らせるまちにするために、一人一人が協力し、助け合えるまちにしていきます。



### 市制施行60周年記念事業

## 府中市子ども市議会

府中市が目指すまちづくりを子ども議員が決議！

市制施行60周年を記念して、市内の小学生の皆さんに議会の仕組みを学んでいただき、議会に関心を持っていただくことを目的に子ども市議会を開催しました。

市内の各公立小学校から2人ずつ、5年生の児童44人が子ども議員となって一般質問などを行いました。

■特別委員会…7月30日(水) 事前会議で議長・副議長選出の後、「みんなで創るまち特別委員会」「笑顔あふれるまち特別委員会」「住みよいまち特別委員会」の各委員会に分かれて、府中市の未来について議論を交わしました。

■本会議…8月5日(火) 午前部の部と午後部の部に分かれ、一般質問や府中市が目指すまちづくりについての決議が行われました。一般質問では、子ども議員から福祉、環境、教育や観光など市政に関する様々な分野にわたり、鋭い視点での質問が投げかけられ、市議会議員が真剣に答弁をしました。

また、府中市が目指すまちづくりについての決議が午前部の部・午後部の部ともに全会一致で採択されました。

※子ども議会の議事録や録画中継(平成27年3月末まで閲覧可能)については、府中市議会ホームページをご覧ください。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gikai>

### 平成26年第3回定例会

## 平成25年度各会計の決算を認定

一般会計決算歳出総額926億円

平成25年度の決算は、一般会計歳入歳出予算額956億8589万6000円に対し、歳入決算額は959億3737万1280円、執行率は100.3%、歳出決算額は926億668万9488円で、執行率は96.8%です。

その結果、歳入歳出差引額は、33億3069万332円となり、このうち1億円については法の規定により財政調整基金に編入をしています。

この議案の提案に当たり、市長から「生活保護を初めとする社会保障費が増加するなど厳しい財政状況の中、経常経費の削減を初め、収支の均衡を保ちながら行財政改革を推進し、健全な財政運営に努める一方、将来の財源確保を図るため、各基金への積み立てを行った。また、学校など公共施設の耐震化や待機児童解消に向けた私立保育所の開設準備の支援のほか、スポーツ祭東京2013を市民との

連携協力のもと円滑に行うなど、市民との対話を重ねながら、市民協働のもと安全に安心して元気に暮らせるための行政サービスに努めた」との説明がありました。

9月18日から25日までの5日間で開催された決算特別委員会において慎重な審査をし、9月29日の本会議で賛成・反対討論が行われ、採決の結果、賛成多数で平成25年度一般会計歳入歳出決算は認定されました。

(関連記事2・3ページ)

### 意見書

◎「手話言語法(仮称)」の早期制定に関する意見書

平成23年8月に成立した改正障害者基本法では、手話が言語に含まれることを明記している。

こうした中、手話が音声言語と対等な言語であることを広く周知し、国民の理解を促進するとともに、聴覚障害者

が家庭、学校、地域社会その他のあらゆる場において、手話を使用して自由なコミュニケーションを享受できるように社会環境を整備することが求められている。

本市議会は、国会及び政府に対し、手話に関する包括的な法律として「手話言語法(仮称)」を早期に制定するよう強く要請する。

◎地方税財源の拡充に関する意見書

真の分権型社会を実現するためには、国と地方の役割分担を明確にし、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある。

本市議会は、国会及び政府に対し、憲法で保障された地方の課税自主権に基づく超過課税の実施に関しては、あくまでも地方自治体の判断が尊重されること、また、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人特別譲与税及び法人住民税の国税化を直ちに撤廃し、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組みすることを強く要請する。

### 人事議案

定例会最終日の本会議に、市長から人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案、府中市オンブズパーソンの委嘱の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

#### 人権擁護委員候補者

室 惇子 氏(67歳)

宮崎 清美 氏(64歳)

府中市オンブズパーソン

戸井田哲夫 氏(64歳)

真野 文恵 氏(58歳)